

一般質問 追跡

あの答弁は
どうなったの



コーチと準備運動

question
「1/100フルマラソンコース」を設置し、楽しみながら健康づくりとグラウンドの有効活用を。

1/100フルマラソン
コース設置を

平成25年6月定例会
酒向弘康 議員

〈利用者の声〉
安全に自分のペースで楽しく走っています。

answer
その後
中央公園で看板表示を検討し
すすめる。
中央公園内に42.1・95mコースを設け、コース横に平成25年11月6日に案内看板を設置した。

議会報告会



議会報告会を平成26年4月20日に幸田町中央公民館で開催。
平成25年9月20日の第1回推進会議開催以来7回の会議を重ね開催。
議会報告会の開催結果は次号でお知らせします。

こうた 議会だより

全国コンクール

優良賞

平成25年4月発行の「議会だより148号」が第28回町村議会広報全国コンクールで優良賞を受賞しました。5年連続で9回目の入賞となりました。
今後もしっかりと、住民参加の広報づくりに努力していきます。



総務

幸田町合併
60周年記念事業

2月19日 協議会開催

合併60周年記念事業の内容は記念式典、加藤登紀子コンサート、NHKの自慢を開催。

Q のど自慢の準備の予定は。

A 2カ月前にNHKから公募される。前日の予選には250団体に絞られ本選は20組となる。

Q 子どもの歌はいつ発表か。

A 記念音楽祭6月29日に開催記念式典のアトックシオンの中で発表する。

企業立地の現状

Q 企業立地用地の状況は。久保田胤山開発推進協議会が発足した。今後進出の意向を示している企業もある。地元開発推進協議会役員において

A 検討調査している。現在の状況はどのようになっているか。

Q 現在の状況はどのようになっているか。

A (株)アビックスの本社が幸田町へ移転。アイシン辰栄株の新工場の進出がある。いずれも須美地区の工業団地である。



久保田区胤山

国道23号蒲郡
バイパス開通

産業建設

2月14日 協議会開催

名豊道路の未供用区間の幸田芦谷ICから蒲郡IC間、5.9kmの暫定2車線開通が3月23日に決定。

Q 当日のイベントは。

A 蒲郡市と共同で式典とウォーキングを計画。

Q 全線開通は。

A 総延長約73km中、蒲郡東部地区の残り6.6kmの用地取得を推進し、工事に着手する。

一般廃棄物処理計画

本町のごみ減量および資



3月23日開通式

源化を目指すために、基本理念を定めた。計画年度は平成26年度から40年度までの15年間。

Q 減量の基本目標は。

A 現状は、1人1日当たり712g。平成40年度目標は、698g。

Q 最終処分場の新設は。

A 現施設の長寿命化をはかりつつ、地元と話し合っていく。

Q 資源化ごみの変更は。

A 硬質プラスチックは「燃えるごみ」、白色トレイは「その他プラスチック」に含める。

深溝松平家墓所 国史跡指定

文教福祉



発掘されたヴェネチアン・グラス（レプリカ）

2月12日 協議会開催

深溝松平家墓所の国史跡指定への経過と今年度の事業説明があった。

Q 今後、観光面はどこが対応するのか。

A 産業振興課を予定。

Q 松平家への報告は。

A 調査報告書の献本と報告をした。

Q 3月の講演は。

A 講師に、愛教大名誉教授、新行紀一氏に依頼。

※3月18日

国史跡指定決定

保育所入所
申込み3歳児増

平成26年度保育所申込み状況の説明があった。

定員変更保育園は2園。坂崎保育園 15人増の135人。わした保育園 50人増の185人。8園の定員を65人増の1300人とする。

Q 園児1人当たりの面積の確保は。

A 基準を満たしている。

Q 1歳児と2歳児の混合の弊害はないか。

A 子どもの行動に差のないクラス編成をする。

総合開発

幸田駅前

事業進捗率53・7%

2月5日 協議会開催

平成18年度から施行を開始した幸田駅前土地区画整理事業は、当初の完了予定である平成27年度を3年延長した。

Q 金融機関の進出は。

特別委員会レポート

A 町有地を含め、地権者との話し合いはすすんでいる。平成27年頃から着手と聞いている。

Q 事業費が約52億円から減っている要因は。

A 物件移転費に約37億円を予定していたが、見直しにより、約8億円の減となった。

Q 3年延長の後、再延長の可能性は。

A これ以上の延長はないようにすすめる。

防災対策

要援護者登録が少ない対策を

2月6日 協議会開催

地域防災計画の修正。防災ハザードマップ作成などを協議。

Q 要援護者の3%程度の登録数をどう増やす。

A 福祉課が対応。本人同意ないと登録できない。

Q 学区単位の防災マップだが、他部署との連携は確認したか。

A 連携は必要。各部署で対策されている。

Q 地域の実態把握は。

A 防災リーダー研修で、地域は地域で守り合うこと。

Q 学区3人程度でマップ作成は少ない。

A ワークシヨップでは、各区の防災担当と協議し、その結果を区で協議する。



幸田駅前交差点